

第 6 回 大和北道路有識者委員会

議 事 要 旨

1. 日 時 平成 1 5 年 2 月 2 8 日 (金) 9 : 0 0 ~

2. 場 所 春日野荘 2 階 飛鳥の間

3. 出席者

委 員 長	近畿大学商経学部経済学科	教授	斎藤 峻彦
委 員	京都大学大学院工学研究科	教授	飯田 恭敬
	京都大学大学院工学研究科	教授	小林 潔司
	奈良女子大学	名誉教授	近藤 公夫
	(財)元興寺文化財研究所	所長	坪井 清足
	神戸大学大学院法学研究科	教授	山下 淳

(五十音順)

4. 議 事

前回委員会の論点について、内容確認を行いました。

- 第 5 回有識者委員会の議事要旨

大和北道路 P I プロセスの進め方について事務局が説明しました。

- 大和北道路 P I プロセスの進め方 (案)
- 大和北道路 P I プロセスの今後の進め方 (案)

上記に関して次のような議論がありました。

- ・ 資料 - 2 - 1 に「現地視察」を追加する。「有識者委員会 (原則公開) 」との記載を「委員会 (公開) 」に修正。また、ヒアリングについては、「原則公開」と明記する
- ・ アンケート結果の公表を 6 月以降に実施し、提言の取りまとめについては夏頃を目途に今後取り組んでいくこととする

事前周知及び意見把握について事務局が説明しました。

- ヒアリングの実施について (案)

上記に関して次のような議論がありました。

- ・ ヒアリングは、以下の目的で行う
 - ・ 最終案を出すにあたって考慮すべき事項の論点整理、利害関係者の意見を幅広く伺い、公正さを保つ
 - ・ 地下水や文化財等について第三者の方から意見を伺う
 - ・ 市民の中から広く意見を伺うことを検討する

- ・ヒアリング対象者については、人数を限定せず、今後の様子を見ながら適宜検討する
- ・行政、PTA、地元住民代表等については、インタビューを行うなどフレキシブルに対応する
- ・世界遺産関係については、イコモス関係者（世界遺跡会議メンバー）からヒアリングを行う
- ・坪井委員、近藤委員から、委員会の場で意見を伺う
- ・交通についてはトラックやタクシー業界だけでなく、「JAF」等の利用者の立場からも意見を伺う
- ・「交通」「観光」については、奈良にとらわれず、広域的観点から意見を伺うことを、今後のヒアリング状況を見ながら検討

- 公聴会の実施について（案）
- PIプロセス周知キャンペーン（案）

上記に関して次のような説明がありました。

- ・キャンペーンに参加された方に意見の提出方法を理解いただき、積極的に意見を出して頂けるよう十分工夫すること

その他

- 現地視察（案）について事務局が説明しました。

上記に関して次のような議論がありました。

- ・視察は、景観及び各ルートの特徴的な地域特性を視察する。幹線道路や生活道路の交通状況についても別途視察を行う
 - ・視察に際しては、必要に応じて、専門家から説明を聞くことも検討する
 - ・視察の候補地については、次回の委員会までに各委員から意見を頂く
- 次回委員会について
 - ・本日の議論を踏まえ、ヒアリングを実施する

以 上